

都議会自民党行政政策推進本部事務局長

かみばやし

しげる

神林

茂

神林レポート 79号

政治に責任感!



京浜急行線高架下利用が決定しました!

交通渋滞の解消や新たな魅力あるまちづくりを目指して進められてきた京急線連続立体交差事業も、高架化が完了し、この10月に「高架下利用計画案」が発表されました。私も線路によって閉ざされた道を開通させること、駅前の駐輪場を整備すること、防災拠点を置き込むことなどを働きかけてきましたが、限られた公共利用スペース（全体の15%）の中で、これらの場所を確保することができましたので、ご報告いたします。

《京急線高架下の公共利用》



防災ステーション大(駅間7か所 集会室+倉庫)	7か所
防災ステーション小(蒲田駅付近2か所 倉庫)	2か所
* 地域活動での活用や災害時に必要な防災支援資材の配慮をした地域防災施設	
駐輪場(各駅 蒲田駅は2か所)	6か所
駅前広場(雑色駅)	1か所
小学校用地(仲六郷)	1か所
通路(六郷地域センター)	1か所
交番(谷戸)	1か所
消防署 訓練場(蒲田消防署)	1か所
消防団施設(第7分団)	1か所
面積合計(15.1%)	5995㎡
新設交差道路(かつて踏切があった箇所以外で新たに整備する区道)	22か所
* 旧踏切があった箇所の既設交差道路は28か所	

～お休みの日に「多摩川七福神めぐり」はいかがですか～

東京で一番新しく誕生したばかりの「多摩川七福神」。破魔矢発祥の地で、新田義興公ゆかりの新田神社を起点にご自身やご家族の福運祈願を行いながら、先人たちの思いや歴史の証にも触れ合うことができます。周辺には、多摩川をはじめ四季折々の自然やパワースポットが散在し、地元の美味しいものとの出会いもきっと待っているはず。 (東急多摩川線武蔵新田駅徒歩3分「新田神社」でガイドマップがもらえます)



羽田空港機能強化に伴う空域などの見直しについて

平成 26 年 6 月 19 日、「国土交通省」より、羽田空港の離発着枠拡大をはかる中間取りまとめが報告され、その説明を受けて、神林茂議員は、下記の文を手渡し、発言をいたしました。

羽田空港離発着枠の拡大は、基本的に国益や首都圏の発展につながることであり、むやみに反対するものではありません。むしろ可能な限り協力して、羽田空港の発展と共に地元も同時に発展させていきたいと考えております。しかしながら、地元を代表する議員として絶対に譲ることのできないことが二点ありますので申し上げます。



一点目は、羽田空港には、現在の空港敷地内に居住していた約 3000 名といわれる方々が、戦後のアメリカ軍による強制退去命令によって、48 時間以内に住み慣れた土地や家を強制的に追われ、空港周辺地域に移り住んだ悲しい歴史があります。さらに、その後、空港周辺住民は、耐え難い航空機騒音などに長年にわたって悩み苦しんでまいりました。そして、その市街地からの騒音除去を主目的とした羽田空港沖合展開事業がようやく進展して今日に至っております。したがって、騒音がこれ以上拡大することは断じて認めがたいことであり、その上に立って、空港とともに町の環境を向上させ、産業の活性化に結び付けることが、地元の願いであります。

二点目は、深夜早朝も含めた羽田空港の離発着枠の拡大の検討が進む中で、それに伴う交通アクセス整備や周辺市街地の環境改善が、一向に具体化していないことであります。特に、京急蒲田～蒲田間の新空港線・国道 357 号線の多摩川トンネル・周辺補助道路の拡幅などが未整備のため、現行でも周辺地域では、交通渋滞や生活道路への車の進入、環境悪化などの被害が顕著になっております。

したがって、離発着枠の拡大に伴う交通アクセスの充実と環境改善は、むしろ先行して行うべきことであり、六年後の東京オリンピック・パラリンピックを目途に実現が図られるよう強く要望いたします。

*特に、B滑走路からの発着は、空港跡地で 75 dB 以上、海老取川沿い町会でも 70 dB を超える騒音が想定され、断固容認できるものではありません。

高齢者の生活支援サービス等に取り組む団体を助成します

日本の総人口の四人に一人が六十五歳以上を迎え、急速な高齢化が進んでいます。医療や介護を必要とする高齢者が急増する中で、施設や病院で受け入れることに限界があり、ひとり暮らし高齢者などに、在宅での配食、家事援助、買い物、定期的な訪問などのサービス提供が必要となってきました。

私は、長年にわたって、元気な高齢者が、地域の担い手となって、高齢者の生活支援サービス等を支える地域社会を創っていくべきと主張し、活動してまいりました。

この度、ようやく東京都で、その関係予算をつけることができ、実施主体である大田区で、「生活支援サービス等実施団体助成事業」として、立ち上げることができました。団塊世代等の元気な高齢者が、地域で生きがいを持って活動できる場を創出するとともに、地域における高齢者の生活支援サービス等に取り組む団体に対して、事業の立ち上げ（新規

に開始、または拡充）に要する費用を助成する

（上限一〇〇万円）ものです。詳しくは、大田区

福祉部福祉課（TEL〇三・

五七四四・四三〇）まで

お問い合わせいただけ

ば幸いです。

